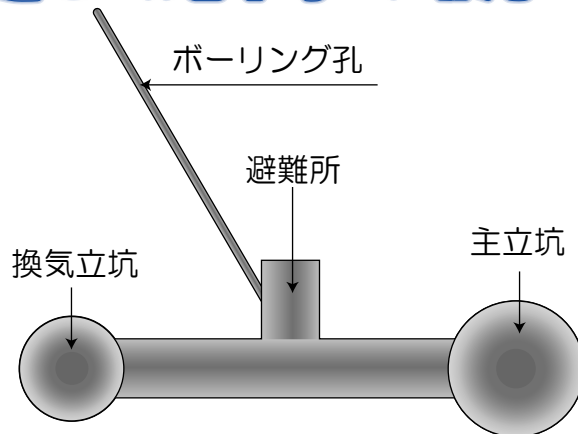


スポット ニュース

深さ100㍍の水平の坑道での地下水の研究

瑞浪超深地層研究所では、深さ100㍍の水平の坑道で地下水の研究を行います。この研究は、主立坑や換気立坑などの掘削に伴い、地下水の水質がどのように変化するかを調べるために、深さ100㍍の水平の坑道から長さ100㍍の水平に近いボーリング孔を掘削します。掘削後、ボーリング孔内に採水の装置を設置して地下水の水質を観測します。



超深地層研究所跡利用検討委員会を開催しました

8月1日、瑞浪市陶磁器会館にて第5回跡利用検討委員会を開催しました。この委員会は、岐阜県、瑞浪市、土岐市及び両市の議会代表、学識経験者、地域の代表、サイクル機構の役職員などで構成されております。

今回の委員会では、サイクル機構より超深地層研究所計画の現状や体験学習の場としての施設活用方策についての提案を行いました。委員会からは、学習施設の場としての水平の坑道の活用や岩石の展示方法など様々なご意見をいただきました。また、委員会の皆様には研究所のご視察をしていただきました。



瑞浪超深地層研究所のご視察の様子

瑞浪国際地科学交流館ミニギャラリーの9月の展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階にあるミニギャラリーでは、「書道」の作品を展示いたします。是非、瑞浪国際地科学交流館へ足をお運びください。

【期 間】平成17年9月1日～平成17年9月30日 10:00～21:00

【場 所】瑞浪市明世町戸狩字大狭間36-8

東濃地球科学セミナーのご案内 (入場無料)

当センターでは東濃地球科学セミナーを開催いたします。皆様お誘いあわせの上、ご参加ください。

【テーマ】知られざる微生物の世界 (講師：今中忠行氏) 【会 場】瑞浪市総合文化センター3F

【日 時】9月3日(土) 13:00～15:30 (13:00開場)

今月の主な作業内容

【瑞浪超深地層研究所】(8月23日現在)

- ①主立坑及び換気立坑の掘削工事 (主立坑：133.8㍍ 換気立坑：154.6㍍)
- ②立坑掘削時の発破の振動を利用した地下を調べる研究
- ③地下水の観測のためのボーリング孔の掘削と観測装置の設置
- ④地下水の採水調査のためのボーリング孔の掘削と採水装置の設置(水平の坑道内)
- ⑤深いボーリング孔 (MIZ-1号孔) での水圧などの長期観測
- ⑥浅いボーリング孔 (MSB-1,2,3,4号孔) での水圧などの長期観測
- ⑦狭間川における流量観測及び用地周辺周辺井戸での水位観測
- ⑧研究坑道の掘削工事に伴う環境管理測定
- ⑨気象観測及び地下水位観測
- ⑩地表の傾斜量の観測

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

瑞浪超深地層研究所を見てくださいませんか?

下記の日程にて瑞浪超深地層研究所の研究坑道などの見学会を開催いたします。お手数ですがこの見学会には事前申込みが必要ですので、希望される方は9月21日(水)までに住所、氏名、電話番号、長靴のサイズをお知らせの上、お申込みください。また、申込み多数の場合は調整させていただきます。なお、見学会は今後とも毎月定期的に行われる予定です。

①開催日時：平成17年9月25日(日) 10:00～11:30

②申込み先：0120-333-112 (地域交流課まで) 【FAX】0572-66-2124

【E-mail】tgc@jnc.go.jp

※お知らせいただいた氏名等の個人情報は見学会の目的以外には使用いたしません

来月の主な作業内容 (9月)

【瑞浪超深地層研究所】

- ①主立坑及び換気立坑の掘削工事
- ②立坑掘削時の発破の振動を利用した地下を調べる研究
- ③地下水の観測のためのボーリング孔の掘削と観測装置の設置
- ④地下水の採水調査のためのボーリング孔の掘削と採水装置の設置(水平の坑道内)
- ⑤岩盤への力のかかり具合の測定のためのボーリング孔の掘削(水平の坑道)
- ⑥深いボーリング孔 (MIZ-1号孔) での水圧などの長期観測
- ⑦浅いボーリング孔 (MSB-1,2,3,4号孔) での水圧などの長期観測
- ⑧狭間川における流量観測及び用地周辺周辺井戸での水位観測
- ⑨研究坑道の掘削工事に伴う環境管理測定
- ⑩気象観測及び地下水位観測
- ⑪地表の傾斜量の観測

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記までお問合せください。

【フリーダイヤル】0120-333-112 【FAX】0572-66-2124 【Eメール】tgc@jnc.go.jp

東濃地科学センター 地域交流課 (青木, 木内, 福島)

《東濃地科学センターホームページ <http://www.jnc.go.jp/ztounou/index.htm>》

第5回超深地層研究所跡利用検討委員会を開催しました

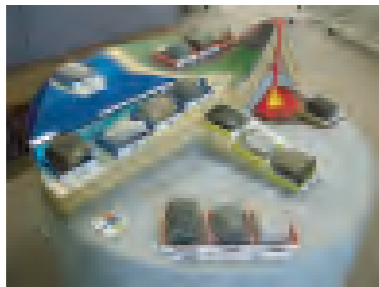
平成 17 年 8 月 1 日（月）、瑞浪市陶磁器会館において、第 5 回超深地層研究所跡利用検討委員会を開催しました。この委員会は、岐阜県、瑞浪市、土岐市および両市の議会代表、学識経験者、地域の代表、サイクル機構の役職員などで構成されており、超深地層研究所における地層科学研究が終了した後の施設の跡利用について検討する委員会です。平成 8 年に第 1 回を開催し今回で 5 回目の開催となります。

今回の委員会では、サイクル機構より超深地層研究所の現状や学習施設としての施設の活用方策についての視点や今後の進め方を提案いたしました。委員会では、提案内容について様々な貴重な意見をいただきました。

体験学習の場としての施設活用の状況

①見学・展示

- ・各種岩石の展示



- ・深いボーリング孔（MIZ-1 号孔）のコアの展示



- ・深さ 60 ㍍より深い場所から 10 ㍍毎の掘削土の展示



③深さ 100 ㍍での水平の坑道の活用方策案

- ・見学ポイントの設置
- ・地下水の採水・分析
- ・宇宙線の測定
- ・研究成果を水平の坑道で展示
- ・地下環境の体験

②体験・実験

- ・掘削土を利用した化石の採取



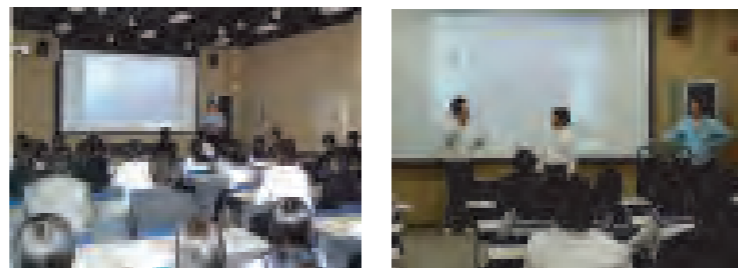
- ・地層・断層見学ツアー



- ・「ジオサイエンス・サマースクールの開催



- ・研究者による校外学習



委員会でいただいた主な意見

- 主立坑と換気立坑をつなぐ水平の坑道の壁面に 50 cm 角の窓をつけ岩石を実際に見て触ってもらうということだが窓は出来るだけダイナミックに見られるようにしてほしい。
- 岩石などの展示方法について関連性を持たせて展示した方が子供たちにもわかりやすい。
- 岩盤の試験のようなものを体験学習に出来ないか。岩も水を通すということを経験できたら良い。
- 主立坑と換気立坑をつなぐ水平の坑道や中間ステージ、最深ステージなども見学できるようにしてほしい。

今後の進め方

- これまでに実施してきた活動を今後も改善しながら継続します。
- ご提案させていただいた水平の坑道を活用するアイデアの具体化を進め、実施可能なものを実施します。
- 今後とも活動状況について委員会の場において報告し、ご意見をいただきながら研究施設の活用を進めたいと考えています。

超深地層研究所跡利用検討委員会に関するお問い合わせ先
核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター 地域交流課
フリーダイヤル：0120-333-112